

# 03

## 提案募集方式を広めるには

### 1

### 提案の集め方

今年から地方分権の担当になったけれど、提案はどうやって集めればいいのか？そんなあなたのために、3つのコースをご用意いたしました。それぞれの地方公共団体で行われた有効な取組を紹介します。

#### [ まずはここから ] 庁内取組コース

国からの通知で提案を募集していると書くと、ハードルが高いと感じる方も多いと思います。実際にはそんなことはなく、気軽に相談をしてもらいたい制度です。

多くの職員から提案を出してもらうためにも、まずは自分たちの庁内での取組を工夫してみるところから始めてみましょう。

#### 新潟県 庁内周知の工夫と相談しやすい体制づくり

庁内イントラネットで提案を募る際に、独自の案内を作成し、提案募集方式が普段の業務の困りごとを解決するのに有効な手法であると職員に印象付けた。

また、分権担当課職員に個人レベルでの相談が可能と周知し、庁内からの提案が広く集まってくるような体制を構築した。



イントラネット掲載時に制度をわかりやすく掲載

#### 豊田市 提案募集方式を活用した人材育成

「国に意見を言える・仕事を変える職員と職場風土」を目指して、既存の職員提案制度の中の一つの枠組みとして、提案募集方式を活用している。提案をした職員に対する表彰制度や、庁内イントラネットを活用して成果を全庁に周知することにより、提案をした職員が評価され、提案が出しやすい環境を整えている。

#### 茅ヶ崎市 支障事例の掘起こしアンケートを全職員を対象に実施

職員全員にアンケート調査を行い、日頃の業務を通して感じる国の定めた制度等に関する事務の不合理的・疑問点等を収集することで、支障事例の掘起こしを行っている。支障事例の掘起こしにあたっては、現在の業務だけでなく、過去に担当していた業務も対象とすることで個々の職員の業務経験を活かしてアイデアが集まる取組を行っている。

#### 兵庫県 分権担当課が汗をかき、現場に提案実現の成功体験を

分権担当課自らが、知事の定例記者会見、国への政策提案、議会や関係団体からの要望等の中から、提案募集制度で解決できる可能性のある案件を所管部署に提示。

また、支障事例を抱えながら、自ら提案することに躊躇している市町には、「県・市町連携提案」として提案書の作成や国のヒアリング対応をサポート。

提案実現の成功体験を積んでもらうことで、翌年度以降の積極的な提案につながっている。

#### 神戸市 制度の有効性を押し出した周知方法の工夫

提案募集方式の有効性を具体例を交えて解説することにより、日常行っている業務の事務改善等に役立つ制度であることをPR。分かりやすいキャッチコピーをチラシのタイトルにすることで興味を引き、提案から実現までのフローやスケジュールを示すことで具体性を持たせている。

分権担当課のフォローも明示されており、各担当者が提案を出すためのハードルを大きく下げることで庁内からの提案が出やすい工夫をしている。



職員の意識に訴えかけるチラシ

〔 職員の意識改革 〕  
**研修実施コース**

そもそも制度の認知度が低すぎて、庁内の職員が誰も提案募集方式を知らない…。そんな場合に有効なのが研修の実施です。まずは制度について知ってもらうことで、「これなら私も提案できるかも！」と思ってもらいましょう。

**伊佐市** **市長・全課長を対象に説明会を開催し認知度を向上**

分権担当課が各課に対して支障事例の募集を行っても反応が鈍かったことから、制度自体の認知度が低いのではないかと推測した。そこで市長以下全課長に対して、提案募集方式の説明会を開催し、その後支障事例の調査を行った。制度の周知と支障事例の調査をセットで行うことにより、提案を考えやすい下地を作っている。

**富士市** **周辺地域と連携した研修会**

近隣の沼津市、富士宮市と合同で研修会を実施した。これにより、課題の掘り起こしの活発化・地域の課題を共有することで、制度の認知度の向上を図るとともに、同じ課題を抱える仲間を見つけて横のつながりを構築することで、広域で共同提案がしやすくなる環境づくりを行った。



内閣府では地方公共団体に対して、無償で研修講師の派遣を行っています。対面、オンライン、座学、グループワーク等々、研修ごとにオーダーメイドで対応していますので、希望される方はお気軽にお問い合わせください。詳細はP.28をご覧ください。

〔 問題を共有 〕  
**住民等連携コース**

提案につながる課題を抱えているのはあなたの団体だけではありません。他の地方公共団体や地域住民、大学生、様々な人たちとコラボして新鮮な切り口で提案を探してみませんか？

**郡山市** **住民参加型のワークショップで課題の発見**

住民・学生・NPO・職員が参加して複数回のワークショップを行った。その中で提案につなげられそうなものをブラッシュアップしていき、本提案につなげた。職員だけでなく、実際に暮らしている住民からの意見を取り入れた事例。



**愛媛県** **大学と連携した取組により斬新な意見の発掘**

愛媛県庁と愛媛大学がコラボして地域づくりをテーマにワークショップを開催。事前に提案募集に関するセミナーを行い、制度に関する知識を知ってもらった上で空家対策や地域公共交通対策などの問題について新鮮な切り口から提案した。



**北海道** **地域の状況を踏まえたアプローチ**

平成30年に発生した胆振東部地震で、特に大きな被害を受けた厚真町、安平町、むかわ町(被災3町)に対し、北海道庁から被災により生じた課題を解決するため提案募集方式の活用を提案するとともに、被災3町の提案に係る事務負担を軽減するため、国に提出された要望書から支障事例を収集し、提案までの調整を実施した。

北海道が地域課題の把握と支援を行うことにより、時節に即した提案につながった事例。

## 2 提案検討のための支援ツール

### 01 地方分権改革・提案募集方式に関する学習動画

地方公共団体向けの研修内容(座学)を約40分でまとめています。  
組織内の職員研修や自己学習等にご活用ください。



**あなたの声で日本の法律・制度が変わる！**

～地域の課題を提案募集方式で解決してみよう～

<https://www.cao.go.jp/bunken-suishin/teianbosyu/seihuinternettv.html>

#### 【学習動画の構成】

1. 地方分権改革の考え方と提案募集方式の概要
2. これまでの提案募集方式の成果事例について
3. 提案検討の参考となるツール等



### 02 地方分権改革e-ラーニング講座



**地域の課題を解決し、地方創生の基盤となる地方分権改革**

<https://www.cao.go.jp/bunken-suishin/linkshu/180216elearning.html>



#### 地方分権改革eラーニング講座

～地方分権改革・提案募集方式がいつでも・どこでも・どなたでも、気軽に学べる～



神野 直彦 氏



高橋 滋 氏



勢一 智子 氏

### 03 政府インターネットテレビ



**徳光・木佐の知りたいニッポン！**

～私たちの声で仕組みが変わる！地方分権改革・提案募集方式～

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg18149.html>



# 04

## 地方分権改革・提案募集方式の成果事例動画

提案募集方式による制度改革で得られた成果事例について、現地取材映像等を交えてわかりやすく解説します。  
 成果事例動画は内閣府 HP で随時追加する予定です。

### 被災者の生活再建を後押し！ 罹災証明書の交付の迅速化



### 農林漁業体験民宿業における 客室面積要件の緩和



### 地方版ハローワークの創設



### 工場の緑地面積率などに係る 地域準則条例の制定権限の移譲



# 05

## 地方分権改革による成果事例集



地方分権改革事例集・地方分権改革・提案募集方式 取組・成果事例集 Vol.1 (平成30年版)  
 地方分権改革事例集・地方分権改革・提案募集方式 取組・成果事例集 Vol.2 (令和2年版)  
<https://www.cao.go.jp/bunken-suishin/jirei/seikajirei.html>



Vol.1 (平成30年版)



Vol.2 (令和2年版)

